

## ごあいさつ

日頃より、皆様の松井ひでおへのご支援・ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

3月市議会定例会では加藤市長の初めての新年度予算編成となり多くの議論が行われました。市長は、日本一子育てしやすいまちを掲げ、26年度より子ども未来部が新たに創設されます。子育てがしやすく高齢者が安心して住めるまちづくりへと、今後も、しっかり皆様のご意見に耳を傾け、長野市発展のために働いてまいりますので、変わらぬご支援・ご指導をお願い申し上げます。



## 3月市議会定例会質問要旨

### 認知症初期集中支援チームの成果・課題は

平成25年5月から26年1月末までに40人の認知症が疑われる人及び家族を述べ155回訪問し、医師を交えた会議で個々への支援策を検討し、医療や介護サービスへつなげている。課題としては早期発見・早期受診の重要性を広く知っていただく啓発活動の推進、6月から取り組む「かかりつけ医による物忘れ相談事業」を活用しての連携体制づくりなどあるが引き続き取り組んでいく。

### 認知症地域支援推進員の増員について

市では現在2名の配置だが推進員の配置と認知症初期集中支援チームの設置を一体のものと捉え、今後段階的に増員を図っていく。26年度民間委託の地域包括支援センター職員を国の地域支援推進員養成研修へ派遣した上で、27年度以降当該センターにおいて活動を開始できるようセンターの役割分担と機能強化を図っていく。

### 認知症SOS徘徊ネットワーク構築について

徘徊高齢者に端末を携帯してもらうことが困難であるといった課題もあることから、キャラバンメイトを活用し、メールを直接配信をして探していただく、市独自の仕組みを夏頃をめどに調整していく。



### 認知症カフェの増設と支援について

認知症の人と家族のほか、地域の方々、専門職など、誰もが参加でき、集う場としてカフェの設置を進めていく。支援策は設立に要する経費、運営に携わる方への研修会の開催、地域包括支援センター職員等による専門的な相談支援など、継続した運営ができるよう工夫しながら支援していく。

### ふるさと納税に特産品の特典をつけては

寄付の特典として市の特産品を活用することで、市の知名度アップや、イメージアップにつなげることは重要な視点と考えるが長野市では財源確保に喫緊の課題である南長野運動公園総合球技場整備事業寄付金に、記念ピンバッジ及び銘板設置の特典をつけ取り組んでおり特産品についてはよく研究していく。



©NEW KOMETO

# ご案内

## 第2回長野市議会 議会報告会開催します

長野市議会は、「市民に信頼される議会」「より身近な議会」の実現を目指し、第2回議会報告会を開催します。新年度予算等を審査、議決した3月定例会の報告会です。多くの市民の皆様の参加をお待ちしております。

日時

5月10日(土) 14時～

場所

市役所第二庁舎10階・講堂

### こども未来部 を26年度設置

子ども・子育て施策の充実を図るため、また、きめ細かな子育て支援を行う体制を強化するため、新たにこども未来部を設置。

25年度まで、保健福祉部と教育委員会でそれぞれ所管していた福祉、保健、教育に関する分野のうち、母子・児童福祉、子育て相談のほか、放課後子どもプランなどの業務を「こども未来部」で総合的に所管します。

また、子どもに関するさまざまな相談を最初に受け止め、相談内容に応じて関係部署との調整を行う総合的な相談窓口として「こども相談室」を設置します。

さらに、少子化の一因とされている晩婚化や非婚化の対策として婚活支援についても、こども未来部で取り扱っていきます。

### お知らせ

#### 庶民の暮らしを応援

簡素な給付措置として臨時福祉給付金

★住民税が非課税の所帯は一人に

1万円の一時金を支給

※生活保護の受給者は除く

★老齢基礎年金・障がい基礎年金・遺族基礎年金・児童扶養手当の受給者はさらに一人につき5000円が上乗せ

※6月下旬に市から対象の家庭に書類が届き、その後、ご自身で記入し、市に申請する必要があります。

★子育て世帯へ臨時給付金

子ども一人当たり1万円の一時金を支給

今年1月の児童手当受給者で、前年に夫婦で年収960万円以下の所帯

※臨時福祉給付金や生活保護の受給者は除く

★高額療養費を改善

(医療機関に支払う窓口負担の上限)

一か月の上限を約5万7000円に  
(これまでは8万円)

※平成27年1月から70歳未満で、年収370万円未満の世帯が対象

